

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)

【公開番号】特開 2021-16441(P2021-16441A)
 【公開日】令和 3 年 2 月 15 日(2021.2.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-007
 【出願番号】特願 2019-132327(P2019-132327)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 17 日(2022.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【請求項 1】

所定のエラー状態となる場合を有し、

特定のエラー状態となる場合を有し、

遊技履歴情報を表示可能な所定の表示手段を有し、

電源断処理において、RWM 領域に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報を生成して記憶可能とし、

RWM 領域には、遊技履歴情報を記憶可能な記憶領域を有し、

前記所定の表示手段は、第 1 の表示部、第 2 の表示部、第 3 の表示部、及び第 4 の表示部を有し、

30

第 1 の表示部には、DP セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 2 の表示部には、DP セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 3 の表示部には、DP セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 4 の表示部には、DP セグメントを含む複数のセグメントを有し、

設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第 1 の表示部、第 2 の表示部、第 3 の表示部、及び第 4 の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯した後に、遊技履歴情報を表示可能とし、

前記特定のエラー状態となり、設定変更を伴う電源投入を行った場合の所定の初期化処理によって、遊技履歴情報が記憶されている記憶領域を初期化可能とする

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明(第 41 実施形態)は、

所定のエラー状態(復帰可能エラー状態)となる場合を有し、

50

特定のエラー状態（復帰不可能エラー状態）となる場合を有し、
遊技履歴情報（指示込役物比率、連続役物比率、役物比率等）を表示可能な所定の表示手段（役比モニタ、比率表示器、又は管理情報表示LED74）を有し、
電源断処理（図360の電源断処理（POWER DOWN））において、RWM領域（RWM53の使用領域のアドレス「F000（H）」～「F1FF（H）」、及び使用領域外のアドレス「F210（H）」～「F3FF（H）」）に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報（RWMチェックサムデータ）を生成して記憶可能とし、
RWM領域には、遊技履歴情報を記憶可能な記憶領域を有し、
前記所定の表示手段は、第1の表示部（デジット6）、第2の表示部（デジット7）、第3の表示部（デジット8）、及び第4の表示部（デジット9）を有し、
第1の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、
第2の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、
第3の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、
第4の表示部には、DPセグメントを含む複数のセグメント（セグメントA～G及びP）を有し、
設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第1の表示部、第2の表示部、第3の表示部、及び第4の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯（「8.8.8.8.8.」を表示）した後に、遊技履歴情報を表示可能とし、
前記特定のエラー状態となり、設定変更を伴う電源投入を行った場合の所定の初期化処理によって、遊技履歴情報が記憶されている記憶領域を初期化可能とする
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50